

# 瀬戸内海漁業基本調査<sup>※</sup>

渡辺 勇二郎

## 目 的

紀伊水道における小型エビ類、シャコ類の資源状況および小型機船底曳網漁業における漁獲状況を把握し、これらの資源についての基礎的資料を得ることを目的とする。

## 方 法

昭和62年度瀬戸内海漁業基本調査要項により、雑賀崎漁業協同組合所属の小型機船底曳網船より、小型エビ類、シャコ類の一曳網分を毎月1回採取し、種類別、雌雄別に体長と重量の測定を行った。

## 結 果

1987年4月～'88年3月に毎月1回の標本採取を実施し所定の調査表にとりまとめ南西海区水産研究所に報告した。

ほぼ周年、サンプルの得られたサルエビ、トラエビの体長組成を図1,2に示した。サルエビは4～7月には体長55～65mmのものが漁獲され9～11月にはこれの産卵由来する40mm以下の小型群が加入する。このエビは12月には45～60mmに成長するが冬期にはほとんど成長がみられない。トラエビについても4～5月に55～65mmの大型群が漁獲され、9～10月に約40mmの小型群が加入している。

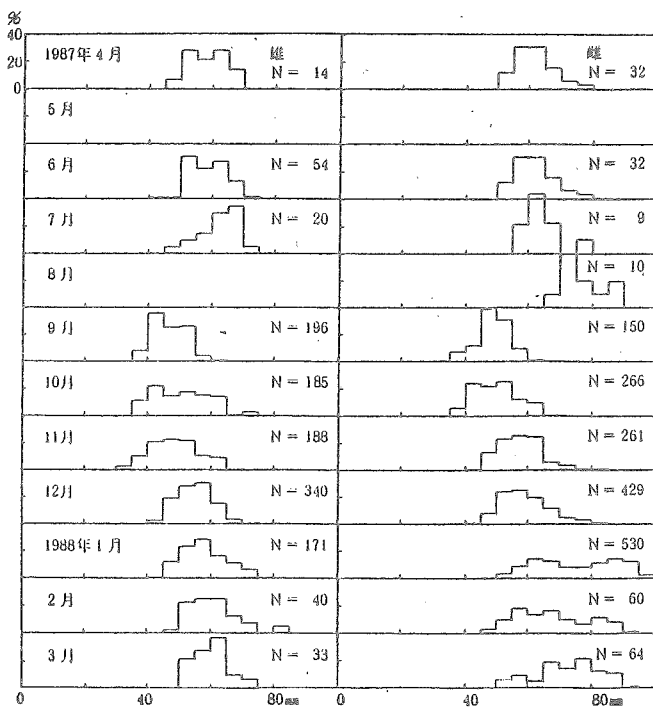


図1 サルエビの体長組成

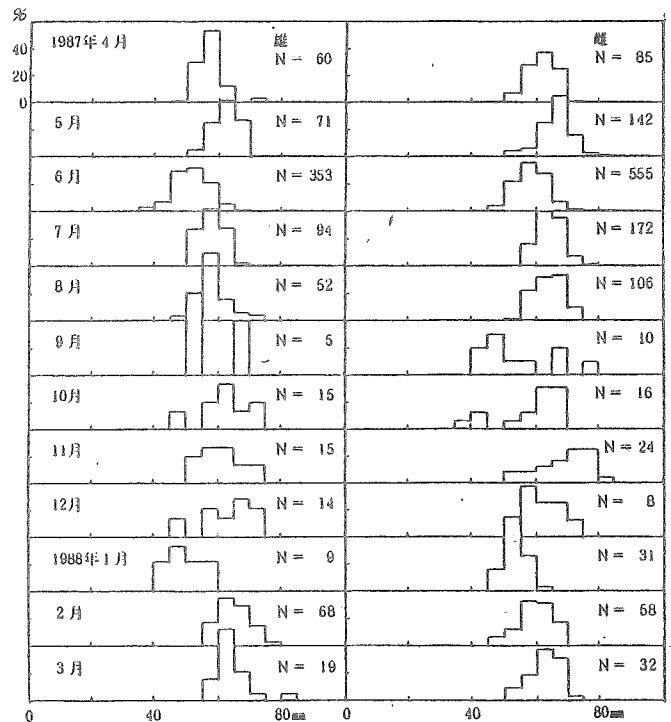


図2 トラエビの体長組成

※ 漁業資源調査事業費による。